

元気で長生きを

敬老会に604人

寿

敬老の日の9月15日、町と社会福祉協議会では70歳以上の皆さんを招待して、共に楽しんでいただく敬老会を開催しました。
当日は、あいにくの雨模様でしたが、604人が参加、歌謡ショーに楽しいひとときを過ごしました。



今年80歳を迎えられた方は76人、代表者に記念品が贈られました。



敬老会は午前10時開会。向後町長から「好きなことを見つけ、気持ちのほりを持って人生を進んで生きてください。100歳目指し頑張ってください」と祝辞、長寿の方と結婚50周年を迎えられた方々に記念品が贈られました。
続いて南条小3年、古川裕美さんと東陽小3年、嶋田菜央さん2人の敬老作文の発表には、目を細め熱心に聞き入っていました。
式典後は演芸に入り、漫談や歌謡ショーに会場は拍手と笑いが絶えませんでした。

地震が起きたとき

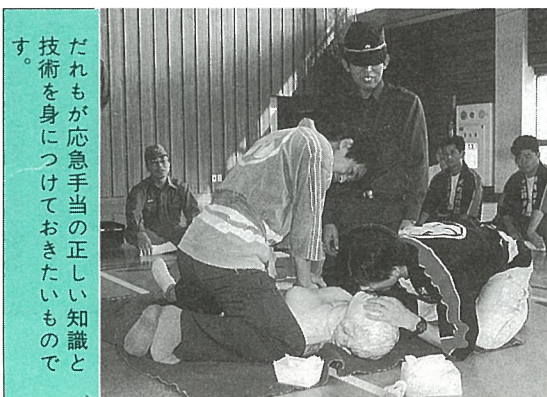
まず命を守る
そして次の行動に移る

- ① 命を守る
 - 丈夫なテーブルなどの下に身を隠す。
 - 戸を開けて出口を確保。
 - あわてて外に飛びださない。
- ② 火災を防ぐ
 - 使用中のガス、ストーブはすばやく火を消す。(ガスの元栓を再度確認)
- ③ 避難する
 - 火がでたら、消火器やバケツですばやく消火。
 - 避難は徒歩で。
 - 海岸は津波の恐れがあるので高台へ、山ぎわや急傾斜地ではがけ崩れが起こりやすいので、急いで離れる。
 - 正しい情報に注意する。

防災の日を前に8月31日町内全域で、防災訓練が行われ1089人が参加、「午前6時30分、地震発生」の想定のもと、津波、がけ崩れ発生による避難所への避難誘導訓練や、消防団の危険箇所の巡回活動等が行われました。町内35ヶ所の避難所では防災パンフレット「地震の心得10か条」の説明や消火器を使った初期消火訓練を実施。また、町体育館で、消防署員の指導により人工呼吸や心臓マッサージなどの心肺蘇生法の応急手当の講習が行われました。

大地震などの災害に襲われたとき、あなたはすばやく、落ち着いて行動できる自信がありますか。非常時の行動力は一朝一夕に身につくものではありません。
日ごろから、いざという時どう行動すればよいのか心構えと備えが必要です。

大地震！いざに備え防災訓練



だれもが応急手当の正しい知識と技術を身につけておきたいものです。